

学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

【研修参加者】

所属(学部(研究科)・学年): 法文学部・二年

氏名: チョウジン

授業科目名	文化人類学実習1
<p>1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>まず、事前調査では、私たちのチームは韓国におけるコーヒー事情について調べようと思っていましたが、韓国に行く前に、どんな現地調査をすればいいかなかなか把握できませんでした。韓国全羅北全州市で現地調査する際に、全北大学校人文学部の学生と交流したり、調査の協力をしてもらったりしました。そこで、調査テーマとしての韓国のコーヒー事情に対して、さらに新たな発見がある一方で、異文化理解の大切さを認識し、視野を広げられたと思います。また、全北大学の学生たちと交流したことで、自分のコミュニケーション能力を向上させることができたと思います。</p>	
<p>2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>現地調査の三日目に、消化不良で体調を崩してしまいました。自分の体調管理不足のせいで半日ぐらい調査に行けず、先生方や他の学生たちに迷惑をかけました。海外調査時に注意しなければならないことは、渡航先の習慣や風習などを理解しておくべきだけではなく、体調管理も非常に重要だと思いました。また、現地での生活を体験して気づいたのは、韓国は日本に近いですが、「近くて遠い国」と呼ばれています。実際に行ってみるとわかりました。食文化のマナーから国民の性格まで文化的な違いは多々あります。</p>	
<p>3. 研修前と後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>研修前と後での自身の変化について、最も成長したのはコミュニケーション能力を高めたことだと思っています。私は韓国語を勉強したことがないので、挨拶ぐらい簡単な言葉しかできず、非常に不安でしたが、全北大学の学生のなかには少しかだけ日本語を話せる学生が多く、その中に、英語が上手い学生もいたので、日本語、韓国語と英語又は翻訳アプリケーションを使ってみんなで話しました。言葉は通じないときもありましたが、韓国語能力や英語能力などよりコミュニケーション能力の方が重要だと思いました。</p>	
<p>4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>今回、海外実習に行く機会があり、事前調査には、必要な渡航準備をし、現地調査の実施計画などを立てました。また、現地では、韓国の大学生と交流を図り、異文化における社会調査を実践しました。そこで、異文化理解力を身につけていました。そして、チームワークの大切さを意識しました。地域社会の発展について、私たち一人一人の力は必要だと考えています。例えば、地域文化には、子どもへの教育的効果があります。そこで、私の目標は文化を大切にする社会の構築に役に立ちたいと思っており、今後取り組んでいきたいことは鹿児島の地域文化を深く理解したうえで、地域文化の発信していきたいです。</p>	

学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

【研修参加者】

所属(学部(研究科)・学年): 法文学部2年

氏名: 安田和

授業科目名	文化人類学実習1
1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>韓国人のスキンシップに対する意識やその実態について調査を行った。具体的な調査としては、全州市内で韓国人のスキンシップの実態を観察したり、韓国人学生に対しスキンシップについてのインタビューを行った。また、これらの調査結果を日本で行った事前調査の結果と比較した。観察調査については、二国間で大きな違いがあるという結果が得られた。具体的には、特に男女間において韓国人は日本人よりも積極的にスキンシップをとっているということが理解できた。インタビューは、実習期間内にそのすべてを日本人のそれと比較することはできなかったが、韓国人は女性同士、異性同士でのスキンシップに抵抗を感じていないということなどが把握できた。</p>	
2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>今回の実習では、日本と韓国の文化の違いを常に感じる事ができた。例えば韓国では、料理に必ずパンジャンと呼ばれるおかずがついてくるが、そのような日本にはない文化に驚いた。反対に箸など日本と共通する文化もあったが、鉄製の箸を使用しているなど、僅かな差異が見られたことが興味深く、それほど離れているとは言えない日本と韓国との間で文化に差異が見られるということに気づいた。また、仁川空港など韓国には大きな建物が数多くあったため、日本に帰国した際に、それまで大きく見えた建物が小さく感じた。日本で感じた「大きい」という感情は所詮他国の前では無意味に等しく、自分は井の中の蛙だったということを学んだ。</p>	
3. 研修前と後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>現地学生と食事などを共にしたのだが、言葉の違いなどもあるため、どのように学生と会話すればよいのか心配していたところ、学生側から翻訳アプリを通じて積極的に会話をしてくれたことがあった。韓国人学生が終始明るい調子だったため、非常に話しやすかった印象がある。また、言葉によるコミュニケーションだけでなく、ジェスチャーで意志が通じることがあったので、コミュニケーションには積極的な態度が必要であることや、言語は必ずしも必要ではないことを学んだ。特にジェスチャーについては、韓国語が話せないため、必要以上に大仰に使うことで意思疎通を試みた。実際通じたかどうかは不明だが、伝えようとする意志が重要だと気づいた。</p>	
4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>実習の中でコミュニケーションをとることが重要であるということを感じたので、今後地域社会の問題に取り組む際には、地域住民と問題解決に向けた取り組みを協働して行いたいと考えている。今回、コミュニケーションは受け身な態度をとることで困難になるということを実感したため、地域住民との連携の際にはその点に十分留意したい。また、地域社会の発展の過程の中で、海外との交流が必要となる場合がある。その際に、自らの経験をもとに海外の文化の紹介やそれらと日本文化との違いを説明するなど、自らが異文化理解の橋渡しの役割を担いたいと考えている。</p>	

学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

【研修参加者】

所属(学部(研究科)・学年): 法文学部 2年

氏名: 伊野波盛琉

授業科目名	文化人類学実習1
1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>日韓におけるスキンシップに関する意識と実態の違いを探るために、事前に日本で現地観察とスキンシップについてのインタビュー調査を行い、研修先でも同様の調査を行った。現地観察を通して、韓国では日本より学校や商店街などの公共の場でスキンシップを取っている人が多く、そのバリエーションも日本より多様であることがわかった。また、インタビュー調査では韓国人は場所や状況を問わず恋人間でスキンシップを取るという回答が得られたほか、同性同士の友人間でのスキンシップに関して日本よりも寛容な見解を持っている人が多いことがわかった。</p>	
2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>現地では日本のアニメや音楽などの文化が広く親しまれているということがわかった。交流した韓国人学生のなかには日本のアニメを通して日本の文化に関心を持つようになったという人が多く、街を歩いていると日本のアニメのキャラクターを見かけることが多くあった。また、食文化に関しては日本との相違点について学ぶことができた。食器を持って食べることがマナー違反とされることや、一人ひとりに配膳されるのではなく複数の料理をテーブルの人と分け合って食べること、現地の人食べ物を残すことにあまり抵抗がないことなど、多くの気づきを得た。</p>	
3. 研修前と後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>研修を通して自身が最も成長したと考える点は、外国人とコミュニケーションを積極的にとるようになったことである。韓国に渡航する前は、言葉や文化が異なる人々とコミュニケーションを取ることに不安があり、かつ韓国人は冷たいという身勝手な偏見を持っていた。しかし、現地で交流した学生は私たちが優しく迎え入れ、言葉が通じなくても温かい目でコミュニケーションを取ろうとしてくれたため、研修前の不安や偏見はなくなった。日数を重ねるにつれ現地の学生との仲も深まったことで、自分から積極的に話しかけることができるようになった。このことが、今回の研修を通して最も成長できた点だと考える。</p>	
4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>私は将来、公務員として出身地である沖縄県の発展に貢献したいと考えている。沖縄県は米軍基地問題や相対的貧困に関する問題などさまざまな課題を抱えているが、これらの問題に直面する地域住民に寄り添える人材になることが私の目標である。その達成に向けて、基地問題や貧困に関しての知見を深めるために積極的にニュースや文献などに触れることに加えて、地域の人々に耳を傾けるという心構えを養っていこうと考える。また、沖縄県には多くの外国人が居住しているため、今回の研修を通して得た外国人とのコミュニケーション能力を今後も成長させることで地域に住む外国人の生活の手助けをしていきたいと考える。</p>	

学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

【研修参加者】

所属(学部(研究科)・学年): 法文学部(人文学科)・2年

氏名: 宮下菜々果

授業科目名	文化人類学実習1
1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>私のグループの研究テーマは「韓国におけるコーヒー事情」でした。2021年は韓国のコーヒー消費量が過去最高であったことに着目してこのテーマに決めました。しかし、研修前の調べ学習では何をどのように調査してアプローチしていくか、何を知りたいのかが明確でなかったため苦戦しました。不安を抱えたままの研修となりましたが、実際にインタビューをしていくなかで、今まで見えなかった視点で物事を見ることができたのでよかったです。また、インタビューの質問にはありませんでしたが、興味深い話を聞き出すことができました。たくさんコミュニケーションを取る上で聞いたことだと思うので嬉しかったです。現地調査では、コーヒーの価格帯やメニューのバリエーション、カフェの種類など調べてみて、日本との違いがよく出ていて興味深かったです。</p>	
2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>元々韓国に興味があったので、文化の違いや特徴などを理解しているつもりでした。しかし、実際に渡韓してみても一番最初に驚いたのは、バスの運転でした。「韓国は乗り物の運転が荒い」という話をよく聞いていましたが、ゆっくり眠れるほどバスの運転が穏やかでした。タクシーでは運転が荒い場面もありましたが、実際に足を運ばないと本当のことはわからないと改めて感じました。また、食文化の違いはやはり大きいと感じました。辛いものが必ず付いていたり、「パンチャン」と呼ばれるおかずがたくさんあったり、情報は知っていても実際にそれを口にできたことは嬉しかったです。また、韓国人学生の皆さんは、翻訳機を使いながらも積極的に話しかけてくださったのでありがたかったです。その姿を見て、私はまだまだ自主性が足りていないと感じたので伸ばしていきたいです。</p>	
3. 研修前後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>初級韓国語を履修し終えて中級韓国語を履修している段階だったので、コミュニケーションに不安がありました。しかし、韓国人学生の皆さんが翻訳機を使いながら積極的に話しかけてくださったことで楽しい時間を過ごすことができました。最初は相づちをうったり返事をしたりするだけで精一杯でしたが、もっとコミュニケーションをとりたいという思いからだんだん会話を続けることができるようになりました。また、言葉が伝わらないことに対して戸惑いを感じることもありました。同じ境遇である韓国人学生と受け入れ合うことで素晴らしい関係が築けたと思います。最終的には、初めて会ったカフェの店員さんにインタビューをするなど、積極性も身につけることができたのでよかったです。そして、異文化に囲まれて日を過ごすうちに、文化の違いや他者の個性などを理解することができたと思います。</p>	
4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>短期間とはいえ、韓国人学生と一緒に充実した思い出を作ることができました。特に感動したのは、最終日にピアノ演奏をしながら歌ったことです。国が違えば文化が違えば、普段聞いている音楽も違ってきます。しかし、世界的に有名なクラシックや日本の曲を演奏してくれたり、歌ってくれたりしたことで、一つの物に全員で心を通わせるような体験ができたことはとても貴重でした。また、日本の文化に興味を持ってくれたことも嬉しかったです。だからこそ、さらに日本の芸術や食文化を発信していきたいと思いました。日本で発信されている海外の情報、海外で発信されている日本の情報はまだまだ一部だと思います。私は、今回の研修地であった韓国の全州についてあまり知りませんでした。どうしても海外に足を運ぶとなったら有名な観光地や都市に焦点を当ててしまいがちですが、地域性も知ってもらいたいしさらに知っていききたいです。また、性格は人それぞれですが、国民性も気になるので多様な人と長く交流を続けていききたいです。</p>	

学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

【研修参加者】

所属(学部(研究科)・学年): 法文学部人文学科・2年

氏名: 古市萌絵

授業科目名	文化人類学実習1
1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>韓国におけるコーヒー事情について、主に大学周辺の現地調査と全北大学の学生へのインタビューを行って調査しました。学生へのインタビューから得られた情報や中間発表で頂いたフィードバックを元に、最終日にはコーヒーのテイクアウトをテーマとした追加の調査も行い、韓国では多くの人が食後にコーヒーをセットで飲む習慣があることやそのほとんどがアイスアメリカーノであること、日本人がお茶を持ち歩くような感覚でコーヒーを持ち歩くことなど、韓国のコーヒーの事情について多くの情報を得ることができ、韓国のコーヒーの消費量が多い背景を捉えることができました。</p>	
2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>ネットでどれだけ多くの情報が手に入るようになったとしても、現地でしか得られない情報の方が遥かに多いだろうと感じました。また、韓国に対して反日のイメージを少なからず抱いていたもののこれは私の勝手な偏見であり、少なくとも私がこの研修中に関わった人の中に私たちが日本人であるというだけの理由で態度を変えた人はいませんでした。それどころか、学生たちだけでなくホテルや飲食店のスタッフまでもが私たちに気をかけ、商品の説明を丁寧に行ってくれたり、お菓子をくれたりしました。感激し、自分の考えを恥じるとともに、自分の勝手な偏見を通してその場所の人々や文化を見てはいけないことを学びました。</p>	
3. 研修前と後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>外国語で会話することをためらわなくなりました。滞在中に携帯が使えず翻訳機なしで会話をしなければならない状況があり、その時に自分のわかる韓国語や英語、身振り手振りで何とか伝えようすると相手も私の伝えたいことを理解しようとしてくれて、その時から完璧でなくてもまずは伝えることが大切だと思えるようになりました。それ以降翻訳機を通さずにリアルタイムで相手の発言に反応できるようになり、インタビューでも話を膨らませられるようになったことで事前に用意していた質問だけでは得られなかった情報も得られたため、これが自分の最も成長した経験だと思います。</p>	
4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250~300字程度)	
<p>私たちの班は日韓比較をせず韓国の文化にのみ目を向けるつもりでしたが、韓国の文化の特徴を挙げようとする、まず日本の文化を前提として生じた違いを韓国の特徴として捉えていることに気が付きました。そのため、今までは当たり前だと思っていたことも日本特有のことかもしれないと考えるようになりました。この気付きは異文化理解を目的として実際に現地に行ったからこそ得られたものだと思うので、この気付きを忘れずより様々な文化に触れてみたいと思います。また、韓国のコーヒー事情についても、興味深い情報を得られたもののアイスアメリカーノにこだわる理由など不明な点も多くあるため、情報を整理してより深く理解したいと思います。</p>	

学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

【研修参加者】

所属(学部(研究科)・学年): 法文学部 2年

氏名: 湯之上 樹莉

授業科目名	文化人類学実習1
<p>1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>今回の実習に参加するにあたって、私たちのグループでは、韓国での友人関係、恋人関係におけるスキンシップの実態を調査し、日本の現状と比較することを目的としました。現地では観察調査とインタビュー調査を行いました。事前に日本で行った同様の調査から得られた結果と比較し、韓国は日本よりもスキンシップが多く取られているのが見受けられました。さらに行為を取ることに對しても積極的であり、とても日常的な行為であることが確認できました。韓国人にとって日常の当たり前の行動であるからこそ、スキンシップに対する意識を調査するのは難しかったが、日本人との違いを多く知ることができました。</p>	
<p>2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>韓国は日本からとても近い場所にあり、同じアジア圏内であることから、現地に行くまで私は日本との文化的な面についての差をあまり感じませんでした。しかし、韓国で過ごしている中で生活の細かい部分を見ていると、日本での日常とは異なる部分が多く見られました。施設の中の設備や仕組みはもちろん多くの部分で異なったが、韓国人の性格や価値観においても日本人との違いを見出すことができました。現地の韓国人の考え方と行動を実際に見たことにより、新たな価値観を持つことができ、自分の異文化に対する視野を広げることができました。</p>	
<p>3. 研修前と後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>私は今回の実習に参加する前から韓国語を勉強していました。これまで学習したことを用いて会話を行うという機会があまりありませんでした。なので、今回現地で韓国人と韓国語でのコミュニケーションを積極的に行ったことによって、実習前よりも韓国語の会話表現力を向上させることができました。それにより、外国語で会話をする楽しさを知ることができました。そして、言語が違ったとしても、お互いがコミュニケーションを図ろうという思いがあれば、言葉が通じなくても、会話はでき、親しくなることもできるというのを実感することができました。</p>	
<p>4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>私は地域社会の発展のために大事なことは観光業だと考えます。その中でも外国人向けの観光を推進していきたいと考えています。異なる国や地域から来た人たちは、私たちとは使用している言語や持っている文化が同じではないので、観光で訪れた場所での生活に不安を感じる人もいると感じました。その不安や混乱を少しでも軽減し、そのような人たちが私たちの住む地域での観光をより充実したものにするための支援を考えていきたいと思ひます。そして、その取り組みは、その地域に住む外国人の生活をサポートすることにもつながっていきたく考えます。</p>	